

# Step by Step

平成31年1月25日発行

STEP  
11



《特集》

## 知ってもらいたい！ 小児整形のこと

- わたしたちの思い～診療放射線技師編～／お役立ちアイテムのご紹介
- 病院からのお知らせ

# ヒト



もりした まさとし  
**森下 公俊 医師**

## プロフィール

1975年生まれ。金沢大学卒業。  
2009年より富山県立高志学園に勤務。  
日本小児整形外科学会所属。  
日本整形外科学会専門医。  
2016年1月より当院小児整形外科医長として診療に従事。



## ●緊張を和らげ共感しながら診療する。～子どもや保護者との関係性を大事にしたい～

**Q. 先生が小児の整形外科医になろうと思ったきっかけは何ですか？**

**A.** 大学病院で勤務後、最初の異動先が高志学園でした。小児整形外科医として赴任し、しばらくしてから筋ジストロフィーのお子さんと出会いました。ある日その子から「先生!」と呼ばれて、「僕の病気が治してよ」と言われたんです。その子は年齢的にも自分の病気のことを理解していたし、治す方法が今のところないということもわかっていながら、そうやってきたことがすごくショックで、今でもその瞬間のことは鮮明に覚えています。治せないにしても、何かその子にあげられることはないかと思い始めたことが一番のきっかけです。その後、小児専門の整形外科の少なさや一般の整形外科で小児を診療する難しさも実感し、自分が小児専門の整形外科医として子どもたちの力になれたらと思うようになりました。

**Q. 小児整形外科の特徴とは、どんなことですか？**

**A.** まず、子どもは成長することを考えながら治療していく必要があります。年齢によって、同じ病気やケガでも、そのまま経過をみるのか、装具やギプスが必要か、手術を行うべきか、最善の治療が違ってきます。おとなは手術することも多いけれど、子どもの場合は自然に治ることもあります。年齢や状況によって違ってくる最善の治療を選択しないといけません。また、子どもは保護者と一緒に来院されることが多いので、保護者に対するサポートも考える必要があります。子どもも保護者も緊張し、不安いっぱいでもらえていると思うので、その気持ちをいかに和らげながら診療するかが大事です。そして、必ずしも自分の症状を全部伝えられる子ばかりではないので、保護者に情報を聞きながら診療し、診断の結果を伝えます。その際も、伝えたらおわりではなく、相手に共感しながら伝えることは大事ですし、安心してもらえるような説明を行って、子どもや保護者との関係性をしっかり築いていくことが重要です。

**Q. 先生が大切にしていること、心がけていることは何ですか？**

**A.** まず、子どもを泣かせないことは小児整形の基本だと思っています。子どもは病院にくる時点で不安で半分泣きそうになっているので、できるだけ気持ちを和らげたり、泣いてしまっても泣き止ませる手段を考えるようにしています。お母さんに抱っこしてもらい、診察

室にある遊具と一緒に遊んでもらって泣き止んでから診療を始めることも多いです。また、私の診察室が一番奥にあるのですが、それには理由があります。初診の子は特にですが、名前を呼んで診察室に入ってもらうまでの道のりを重要視しているからです。診察室に入ってきてから歩き方を見せてと言っても緊張して固まり、動かなかったりしますが、診察室に入るまでの道のりでは、普段の様子がわかります。歩き方や走り方、素の雰囲気や今日の状態を観察して、診療や対応方法を考えるように心がけています。そして、泣いていた子がバイバイと笑顔で帰ってくると、それだけでもすごく嬉しいし、よし!とやりがいがあります。治療も勿論大事ですが、子どもや保護者とうまく人間関係を築くことを大切にしています。

\*

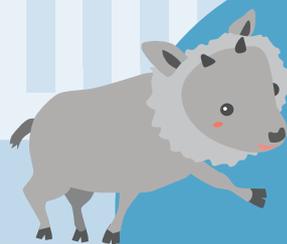
休日はドライブで富士山を見に行ったり、四国一周旅行などにご家族を連れて行かれるそうです。長距離運転はまったく苦にならないと話される頼もしい4人のお子さんのお父さんです。



ハロウィンの日は仮装をして診療された森下先生☆  
こんな先生の診療なら、子どもたちが思わず笑顔になるのも納得ですね。

森下先生の小児整形外科外来は、  
月・火・水・木曜の午前午後です。  
なお、木曜の午後は第1、第4週目のみ診療。  
※受診をご希望の方は、電話等にてご相談ください。





# モ

## 補装具をつければ 「できる」ことがふえる!

身体の一部が弱かったり、機能が失われたときに用いられるのが「補装具」です。補装具には、治療を目的として使用される場合と、長期間にわたってADL（日常生活動作）確保のために使用される場合があります。

当院では、整形外科やリハビリテーション科の医師、理学療法士などのリハビリ担当者、臨床工学技士、義肢装具士、補装具作製業者などの関係者が相談にのります。また、お子さんの成長などの状態に合わせて補装具の調整も行っていきます。多くの補装具の中から、今回は4つの補装具をご紹介します。

### ●短下肢装具

麻痺がある場合、立位・歩行の安定や足の変形を予防するために装着します。ベルトが緩いと皮膚のトラブルの原因や立位が不安定になるので、ベルトをしっかり締めることが大事です。



### ●足底装具（インソール）

足や膝の痛みやゆがみ、歩き方などを矯正するために使用します。学校や通勤用の靴に入れて、転びやすさや疲れやすさなども防ぎます。子どもの場合は成長に合わせて、1年から1年半で交換が必要です。



### ●体幹装具

背骨が曲がってくる（脊柱側弯症）などの進行を予防するために使用します。基本的には24時間装着するものですが、難しい場合は、12時間以上の装着をお願いしています。成長期が終われば一般的には装具を外すことができます。



### ●座位保持装置

座位姿勢の保持が困難な場合、呼吸や食事などがスムーズに行えるように症状に合わせて機能を調整し、オーダーメイドで造る場合も多くみられます。



# コト



## 小児整形外科

当院には全国的にも数少ない子ども専門の整形外科があります。現在、小児整形外科医師3名（常勤2名、非常勤1名）が在籍しています。

### ●どんな症状の子どもたちを診ているの？

捻挫や骨折などのケガはもちろん、それ以外にも、

- ・姿勢が悪い
- ・ハイハイや立ちあがりなどの発達が遅い
- ・足の形や歩き方が気になる
- ・転びやすい

など、さまざまな症状のお子さんを診療しています。



### ●主な疾患紹介

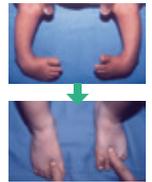
#### 脊柱側弯症

姿勢が悪いお子さんの中に、脊柱側弯症が隠れている場合もあります。思春期の女兒に発症することが多く、体操などで経過をみる場合や補装具を使用して治療する場合があります。



#### 先天性内反足

生まれつき足が内側に変形しているものです。そのままでは、歩行に支障をきたすため、Ponseti法に基づいて治療（ギプス矯正やアキレス腱切腱手術など）を行います。



#### 脳性麻痺

手足や体幹の麻痺に伴い、運動機能に支障をきたします。運動機能をサポートし、日常生活の困難さを軽減するための補装具を作成したり、運動機能の維持・向上のためにリハビリを行うこともあります。

#### 股関節脱臼

赤ちゃんの股関節の開きが悪いことや、歩行開始後でも脚をひきずることで気づかれることがあります。補装具を使用することが多いですが、牽引や手術を行うこともあります。



#### ペルテス病

3歳から10歳くらいまでの男児に発症することが多く、歩行時に脚をひきずることで気づかれることが多いです。治療に長期間を要するため、原則、当院に入院（入所）していただき、治療を行っています。



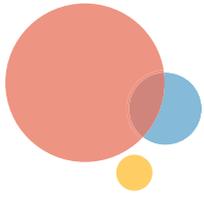
診察後、レントゲンや超音波、MRIなどの検査を行うこともあります。診断結果や症状に合わせて、手術や補装具の作製、リハビリ（理学療法、作業療法、言語療法）など、本人や家族と相談しながら治療していきます。

また、通っている保育園や小学校の先生に配慮や対応についてアドバイスなども行っています。家庭や学校など、子どもが生活する環境を整えてあげることも大切です。



その他にも、O脚、X脚や内股歩きなどの症状のお子さんにも診療しています。





## わたしたちの思い ～診療放射線技師～

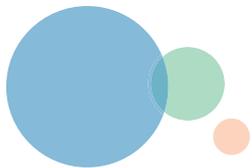


私たち診療放射線技師は、さまざまな機械を操作して、医師に診療画像を提供することが仕事です。当院では、X線撮影装置・CT装置・MRI装置・X線TV装置を扱った検査を行っています。しかし、ただ検査を行うだけでなく、安全面に配慮しながら検査を行うことが非常に大事です。

特に小児のX線写真撮影時は、プロテクター（X線を遮断する防護服）を身に着けて、撮影時は患者さんから離れずに、安全面に気をつけて撮影を行っています。また被曝についても、小児の体格を見て、X線の量を調整し、可能な限り被曝を低減するように配慮しています。基本的には、撮影目的部位のみに放射線が照射されるので、被曝は撮影部位のみです。また、撮影室に入っている時間が長く感じるかもしれませんが、実際に放射線を出している時間は非常に短いです。小児のCTについても、最新の医療被曝のガイドラインDRLs2015（低減目標値）に沿って検査を行っています。このガイドラインは大人と小児で別々の指標が示されており、ガイドラインに沿って、被曝は最小限になるよう配慮しています。

多くの患者さんは、不安な気持ちを抱えて検査を受けに来ています。その不安な気持ちを取り除けるよう、これからも安全・被曝に配慮し、検査を行っていこうと思います。

若林 宏和



## お役立ちアイテムのご紹介



当院では毎年「院内学術集会」を開催しており、昨年で3回目となります。院内学術集会では、各部署の業務紹介や症例・研究の発表、職員考案のお役立ちアイテムの出品などが行われます。

その中でも、職員一人ひとりの創意工夫がみられたアイデア作品部門（お役立ちアイテム）16品のうち、見事、院長賞に選ばれた作品をご紹介します☆

製作者：成人療法課（理学療法士） 溝口 太仁さん  
作品名：人工筋肉 “Ilio- アイリオ”

「人工筋肉 “Ilio- アイリオ”」は、歩行（脚の振出し）の補助に用います。患者さんはコルセットと、補助を行う脚の大腿部に固定用バンドとセラバンドを装着して歩きます。伸びたら縮むという筋肉の機能をセラバンドで再現することで、自分の力で脚を振り出しているような感覚を得ることができます。



製作者：こども療法課（作業療法士） 遠藤 若菜さん、原田 莉歩さん  
作品名：家をたてよう

「家をたてよう」は、更衣動作のリハビリに用います。必要なパーツをボタンでつけたり、ファスナーを開閉しながら家をつくります。

家が完成していく様子が一目でわかり、達成感を感じやすく、楽しみながら練習することができます。また、パーツを置くところに印が付けてあるため、マッチングの課題としても使用することができます。



# ● 病院からのお知らせ

\*詳細は、ホームページまたは、総合受付横の案内板でご確認ください

## 2月

5日(火)	教室	糖尿病教室(病気の知識、食事の基本)
6日(水)	教室	リハビリテーション家族教室(脊髄損傷)
12日(火)	サロン	ほのぼのぴあサロン(高次脳機能障害)
	教室	糖尿病教室(食事の管理、歯の衛生)
19日(火)	教室	糖尿病教室(糖尿病の検査、薬の知識)
20日(水)	サロン	こども家族グループ(高次脳機能障害児)
	サロン	保護者サロン(発達障害・未就学期)
26日(火)	教室	リハビリテーション家族教室(脳卒中・健康生活編)
	講座	ほっぴ支援講座(発達障害・薬物療法編)
	教室	糖尿病教室(健康管理の実際、運動療法)

## 3月

5日(火)	教室	糖尿病教室(病気の知識、食事の基本)
12日(火)	サロン	ほのぼのぴあサロン(高次脳機能障害)
	教室	糖尿病教室(食事の管理、歯の衛生)
13日(水)	教室	リハビリテーション家族教室(脳卒中・介護編)
	サロン	こども家族グループ(高次脳機能障害児)
19日(火)	教室	糖尿病教室(糖尿病の検査、薬の知識)
20日(水)	サロン	保護者サロン(発達障害・学齢期)
26日(火)	教室	糖尿病教室(健康管理の実際、運動療法)
	教室	リハビリテーション家族教室(脳卒中・環境調整編)
27日(水)	教室	高次脳機能障害者家族教室(当事者)

本年もよろしくお祈りします。



## ● 外来診療案内 受付時間【午前】8:30~11:00【午後】13:00~15:00 診療時間 9:00~17:00

平成30年11月1日現在

診療科	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	●		●		●		●		●	
神経内科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
整形外科	●	●	●		●		●		●	
リハビリテーション科	●		●		●		●		●	
泌尿器科					●	●	●	●		
精神科				●						●
脳神経外科				●				●		
皮膚科						●				
眼科										休診中
耳鼻咽喉科				●				●		
歯科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
小児神経科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
小児整形外科	●	●	●		●			第1・4	●	●
子どもの心(児童精神科)					●	●	第1・2・4	●	●	●

## ● 交通アクセス



■あいの風とやま鉄道線東富山駅下車、東富山駅より地铁バス

東富山駅より地铁バス→リハビリセンター行乗車、終点下車

■北陸自動車道

金沢方面=富山西ICより国道8号線方面へ向かい、本郷西交差点右折、国道8号線新屋交差点左折  
新潟方面=滑川ICより国道8号線方面へ向かい、稲泉交差点左折、国道8号線新屋交差点右折

■富山駅南口バスターミナルより地铁バス(所要時間約30分) リハビリセンター行 乗車、終点下車

富山地方鉄道 路線バス時刻表 平成30年4月1日改正

平日(月~金曜日)ダイヤ

リハビリセンター行き 中央病院行き

(下赤江・豊若町・済生会病院経由) (下赤江・富山駅前経由)

土曜・日曜・祝日(8月14日~16日)(12月30日~1月3日)ダイヤ

リハビリセンター行き 中央病院行き

(下赤江・豊若町・済生会病院経由) (下赤江・富山駅前経由)

富山駅前	県リハビリセンター南口 (ワークセンター前)	県リハビリセンター (新病院正面玄関前)	富山駅前	富山駅前	県リハビリセンター南口 (ワークセンター前)	県リハビリセンター (新病院正面玄関前)	富山駅前
8:00	8:28	9:06	9:40	8:10	8:38	9:31	10:00
9:15	9:46	10:06	10:40	9:30	9:58	10:16	10:45
10:55	11:26	11:36	12:05	11:30	12:01	12:06	12:40
12:25	12:56	13:06	13:35	12:30	13:01	13:06	13:40
13:55	14:26	14:36	15:05	14:30	15:01	15:06	15:40
15:55	16:26	16:56	17:25	16:20	16:51	17:06	17:40
17:25	17:56	18:19	18:50				



病院の情報をもっと知りたい方は、ホームページにアクセスしてね!



【お問合せ先】

◆富山県リハビリテーション病院・子ども支援センター

〒931-8517 富山県富山市下飯野36番地 ☎(076)438-2233(代)

ホームページ <http://www.toyama-reha.or.jp>